

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議 会議員の年齢，職業および所属委員会 (1)

長谷川 憲

L'âge, profession et comité siégé des Représantants
du peuple à L'Assemblée nationale constituante de
la deuxième République française (1)

Ken HASEGAWA

目 次

はじめに

資 料 (コレーズ《Corrèze》県まで本号)

解 説

はじめに

この資料は，“Biographie des 750 Représantants du Peuple à l'Assemblée nationale législative”との表題で，匿名の複数のジャーナリストが，1849年，パリにおいて出版した文献¹⁾を原資料に，1848年5月4日に成立し，約1年の間活動したフランス第二共和制憲法制定国民議会 (l'Assemblée nationale constituante)²⁾の議員の年齢³⁾ 職業⁴⁾ および所属委員会⁵⁾ を県別に整理し，若干の補正と解説を加えるものである。原資料としての上記文献は，次の内容からなる4ヶ章から構成されており，本資料の作成にあたって，第1章ないし第3章を参照した。第1章および第2章は，それぞれ，法律制定国民議会 (l'Assemblée nationale législative) および憲法制定国民議会に選出された議員について，その略歴などをアルファベット順に掲載した部分である。第3章は，「公表制」⁶⁾ が適用された15件の議決案件に対する憲法制定国民議会に属した950名の議員の投票結果，ならびに，その年齢，職業および所属委員会を県別に掲載した部分である。さらに最終章の第4章は，法律制定国民議会に選出された議員の県別リストを掲載する。この文献の意義および資料解説については後に

扱うこととして、最初に憲法制定国民議會議員が所属した議会についてごく簡単に触れる⁷⁾。

憲法制定国民議会は、二月革命直後に確立された直接・普通選挙制度（男子）⁸⁾の始めての実施⁹⁾により選出され、1848年5月4日、招集・成立した議会である。憲定制定を目的としたこの議会は特に会期を定めず、1849年5月26日にみずから解散することを決定するまで約一年の間活動を行った。この議会の主たる任務は、憲法制定国民議会の名称が示すように憲法を制定することであったが、この作業に加え憲法に基づき国家組織整備のための組織法を制定する作業を行うことを、憲法審議開始に先だち決定した¹⁰⁾。しかし、憲法に基づく国家組織整備のための組織法を制定する作業は、議会内外における社会諸集団・諸党派の対立と無関係に進めることはできず、そのため議会はこれらの作業を最後までやりとげることなく解散されることとなった¹¹⁾。このような点からも、本会議および各種委員会における憲法制定作業および国家組織整備のための組織法の制定作業をめぐる議員の議論および対応を検討することは、第二共和制期および19世紀中葉における社会諸集団・諸党派の憲法意識を議会という窓枠を通して検証する作業につながる点で興味をもたれるものである。

二月革命の結果成立した臨時政府は¹²⁾、ルイ・ブラン起草の「労働により労働者の生存を保障する」ことを目的とする2月25日布告¹³⁾の発令、「国立作業場 (ateliers nationaux)」の設立（同月26日）¹⁴⁾、および「リュクサンブール委員会」の設置（同月28日）¹⁵⁾、ならびに「労働時間の短縮」（3月2日）¹⁶⁾などの進歩的社会政策を実施するとともに、長年問題とされてきた直接・普通選挙制度を男子について確立した。ルイ・ブランの主導のもとで進歩的労働政策が立案されるとともに、直接・普通選挙制度が確立されたのは、この制度の確立が40年代を通じての労働者層の要求であり、かつブルジョワ共和派およびプチブル共和派の要求とも合致していたためと考えられる。しかし、この制度を実施する段階になると次の二つの新たな問題が浮かび上がってきた。第一は、この制度の実施に際しての情勢判断をめぐる対立である。すなわち、この制度の早期実施により議会を招集し、共和制の合法化を目論むブルジョワ共和派およびプチブル共和派と、有権者の大多数を占め、地方名望家の影響下にあるとみられるパリ以外の地域の有権者の選挙権行使による革命の変貌をおそれ、早期実施に反対するブランキなどの急進派との間の対立が生じたのである。急進派は、3月17日、パリ民衆によるデモを背景に臨時政府に圧力をかけるが二週間の延期という譲歩を引き出すにとどまり、総選挙は4月23日に実施された。そしてこの総選挙の結果は、急進派の危惧どおり、急進派および労働者を支持するものは少数にとどまり、

「事後の共和派 (les républicains du lendemain)」を含め保守的傾向を示すものが多数選出される結果となった¹⁷⁾。直接・普通選挙制度という民主的制度は、その存在自体が民主制の実現に結びつき、左派に有利な制度となるものではないという実態が明らかになるのである。また第二の問題として、選挙が農民層の共和制への反発の表明の場となった事実である。この農民層の反発の影響は、総選挙の結果へ反映するにとどまらず、「農民の反乱」(マルクス)ともいわれる、12月10日の大統領選挙におけるナポレオンの選出にまで及んでいると考えられるので重要な意味をもつのである。この反発の要因として3月16日に布告され農民層の強い反発を生みだした45サンチーム税¹⁸⁾とそれを財源とした国立作業場の労働者への賃金の支払いなどが考えられる。このことは、二月革命期においては大革命期と異なり、パリの革命はフランスの革命を意味しなくなっており、その状況のなかでパリと地方とが革命に対して対立的な意思を示したことが、および、これまで同様に被支配的地位にあった労働者・パリ民衆と農民とが二月革命の初期政策により対立関係になったことを示しているため、二月革命の展開において重要な意味をもつことになる。

議会の招集後には次のことが問題となる。

5月4日に招集された議会は、「事後の共和派」を含め保守的傾向を示すものが多数を占めたため、執行委員会を形成するにあたり、臨時政府の構成員であったルイ・ブラン、アルベールを排除するなど¹⁹⁾、保守的立場を明瞭にした。これに対して、革命の諸政策の実現に危惧を抱く急進派およびパリ民衆は、5月15日、再度議会へ圧力をかけるべくデモを行った。このデモは議会への乱入に発展し、新たな臨時政府の樹立が提起されるが、議会側の招集をうけた国民軍による反撃により、逆にブランキ、バルベスなど急進派の指導者が逮捕されることとなり、民衆運動は指導者を失うこととなる。さらに議会は、国立作業場の解体と失業者の国民軍への編入という政策を提示したため、パリの労働者・民衆の反発を招き、6月事件の勃発をまねくが、これもまた議会側の反撃により鎮圧された。これらの事件の処理を通して、議会はパリの労働者・民衆の直接的圧力から解放されるが、このことは二月革命を左側から支えてきた急進派・労働者・民衆勢力の切り捨てを意味した。またカヴェニャクは、行政府長官として権限を集中し、「ル・ナショナル派」を中心に閣僚を選任し²⁰⁾、議会は「ル・ナショナル派」の主導の下で運営されることとなった。しかもその後議会は、5月15日事件、6月事件の調査委員会を設置し²¹⁾、議会外の暴動参加者の逮捕・訴追を進めるとともに、議会内左派であるルイ・ブラン、コーシデールの両事件加担容疑に対しても調査を進め、遂に8月25日の議会本会議において、両者の逮捕許可請求が提案

されることとなる。そして、この許可請求が可決された結果、左派的傾向に否定的な議会の多数派の対応は一層明確となる。そのような状況のなかで、「ル・ナショナル派」の主導の下で議会本会議における憲法審議が開始されることになる。9月4日、議会は先ず組織法を制定するまで解散しないことを決定し、11月4日、「第二共和制憲法」を制定する²²⁾とともに、12月11日、「組織法列挙法」²³⁾を制定した。

しかし、12月10日、大統領選挙の結果ナポレオンが大統領に選出されると状況は一変する²⁴⁾。すなわち、「ル・ナショナル派」の影響の下で、権限を集中した大統領が議会と協力し、権力を行使するという構図は、当初からくずれたからである。さらに、ナポレオンがオデイロン・バロを首班に議会少数派の「秩序党」から閣僚を選任するに至り²⁵⁾、議会と大統領との間の矛盾および議会内部における対立は、一層深まった。そのような状況を背景に、1849年2月14日、憲法制定国民議会の解散と法律制定国民議会の招集を定めた法律²⁶⁾が可決された。その結果、議会は「コンセイユ・デタの組織法（同年3月3日制定）」²⁷⁾および「選挙法（同年3月15日制定）」²⁸⁾を除き「組織法列挙法」に列挙された各組織法を制定することなく、5月26日、解散し、新たに5月28日、アルマン・マラストをはじめ「ル・ナショナル派」の大部分の議員が再選されることなく、法律制定国民議会が招集され、成立した²⁹⁾。

このように議会の機能は、刻々と変化する議会内グループの離合集散の構図に左右されており、「ル・ナショナル派」の下での9～12月期とナポレオン大統領の下での12月～翌年5月期を区分して検討することは意味があるだろう。また、議員グループの性格を明らかにする作業としても、9月以降、とりわけ憲法制定以降の問題として、ナポレオンの登場とその議会への影響力という問題を考えなければならないと思われる。

註

1) *Biographie des 750 Représentants du Peuple à l'Assemblée nationale législative*, Paris, 1849. なお、本文献の利用にあたり、奈良教育大学教授谷川稔氏および東邦大学教授元山健氏の御助力を得た。記して感謝の意を表するものである。

2) 憲法制定国民議会の総定数は、900名であり、884名がフランス本土の各県に、16名がアルジェリアおよび海外領土に配分された。4月23日実施の総選挙では、フランス本土選出の884議席およびアルジェリア選出の4議席の計888議席について選挙が行われ、資格審査の結果、^{※1}21名がアルジェリアを含む複数(36)の選挙区から重複して選出されたため852名が議員資格を認められた。その後4回の補欠

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

選挙および海外領土選出議員の選挙が施行されたため、最終的に 912 名が憲法制定国民議会議員としての資格を認められた。

各県に配分された定数を以下に記す。以下の表は 1848 年 3 月 5 日デクレ 別表 (Bull. off. 5, n° 62; S. 1848, Lois annotées, p. 14.) および 1849 年 3 月 15 日選挙法別表 (Bull. off. 136, n° 1182; S. 1849, Lois annotées, p. 31.) から作成した。

表

県 名	定 数	県 名	定 数
Ain	9	Manche	15
Aisne	14	Marne	9
Allier	8	Haute-Marne	7
Basses-Alpes	4	Mayenne	9
Hautes-Alpes	3	Meurthe	11
Ardèche	9	Meuse	8
Ardennes	8	Morbihan	12
Ariège	7	Moselle	11
Aube	7	Nièvre	8
Aude	7	Nord	28
Aveyron	10	Oise	10
Bouches-du-Rhône	10	Orne	11
Calvados	12	Pas-de-Calais	17
Cantal	7	Puy-de-Dôme	15
Charente	9	Basses-Pyrénées	11
Charente-Inférieure	12	Hautes-Pyrénées	6
Cher	7	Pyrénées-Orientales	5
Corrèze	8	Bas-Rhin	15
Corse	6	Haut-Rhin	12
Côte-d'Or	10	Rhône	14
Côtes-du-Nord	16	Haute-Saône	9
Creuse	7	Saône-et-Loire	14
Dordogne	13	Sarthe	12
Doubs	7	Seine	34
Drôme	8	Seine-Inférieure	19
Eure	11	Seine-et-Marne	9
Eure-et-Loir	7	Seine-et-Oise	12
Finistère	10	Deux-Sèvre	8
Gard	10	Somme	14
Haute-Garonne	12	Tarn	9
Gers	8	Tarn-et-Garonne	6
Gironde	15	Var	9
Hérault	10	Vaucluse	6
Ille-et-Vilaine	14	Vendée	9
Indre	7	Vienne	8
Indre-et-Loire	8	Haute-Vienne	8
Isère	15	Vosges	11
Jura	8	Yonne	9
Landes	7	Algérie	4
Loir-et-Cher	6	Martinique	3
Loire	11	Guadeloupe	3
Haute-Loire	8	Guyane	1
Loire-Inférieure	13	Sénégal	1
Loiret	8	Ille de la Réunion	3
Lot	7	Les établissements français de l'Inde	1
Lot-et-Garonne	9		
Lozère	4		
Maine-et-Loire	13	計	900
			750

※ 2 右側の数字が法律制定国民議会の定数である。

※1 複数の選挙区から選出されたのは次の21名である（なお、括弧内の数字は重複数であり、下線は選択した選挙区である）。

- ① アバァテュシ (Abbatucci) (2) Corse/Loiret
 - ② アラゴ (François Arago) (2) Pyrénées-Orientales/Seine
 - ③ アイリ (Ayliès) (2) Orne/Gers
 - ④ バスティド (Jules Bastide) (3) Saône-et-Loire/Seine/Seine-et-Marne
 - ⑤ ベトモン (Bethmont) (3) Charent-Inférieure/Indre/Seine
 - ⑥ カヴェニャク (Euègne Cavaignac) (2) Lot/Seine
 - ⑦ コルムナン (Cormenin) (4) Bouches-du-Rhône/Mayenne/Seine/Yonne
 - ⑧ クレミュー (Crémieux) (2) Indre-et-Loire/Seine
 - ⑨ デュポン・ドゥ・ルール (Dupont de l'Eure) (2) Eure/Seine
 - ⑩ ガルニイエ・パジェス (Garnier-Pagès) (2) Eure/Seine
 - ⑪ ラマルティーンヌ (Alphonse de Lamartine) (10) Bouches-du-Rhône/Côte-d'Or/Dordogne/Finistère/Gironde/Ille-et-Vilaine/Nord/Saône-et-Loire/Seine/Seine-Inférieure
 - ⑫ ドゥ・ラルシ (De Larcy) (2) Hérault/Gard
 - ⑬ ドゥ・ラストリ (Jules de Lasteyrie) (2) Sarthe/Seine-et-Marne
 - ⑭ ラトラッド (Louis Latrad) (2) Dordogne/Corrèze
 - ⑮ マリ (Marie) (2) seine/Yonne
 - ⑯ マラスト (Armand Marrast) (4) Basses-Pyrénées/Haute-Garonne/Sarthe/Saine
 - ⑰ パネール (Pagnerre) (2) Seine/Seine-et-Oise
 - ⑱ ペルディギューエ (Agricol Perdiguier) (2) seine/Vaucluse
 - ⑲ ルクール (Recurt) (2) Hautes-Pyrénées/Seine
 - ⑳ ルドリュ・ロラン (Ledru-Rollin) (3) Saône-et-Loire/Seine/Algérie
 - ㉑ シュベルビ (général Suberbie) (2) Gers/Eure-et-Loir
- 3) 本資料には前記文献に掲載されたままの年齢を掲載した。なお、これらの年齢は文献発行時におけるものであり、また若干の誤りも含まれているが、原資料のまま記載することを原則とした。
- 4) 本資料で職業の項目に記したものは、第一章、第二章および第三章に掲載された職業および肩書などに、モニター紙掲載の選挙結果および議員資格審査の記録 (Monit. univ., 28 avril 1848, pp. 903-904; Monit. univ., 29 avril 1848,

pp. 910-911; Monit. univ., 30 avril 1848, p. 913; Monit. univ., 1 mai 1848, pp. 917-918; Monit. univ., 2 mai 1848, pp. 922-924; Monit. univ., 3 mai 1848, p. 933; Monit. univ., 4 mai 1848, p. 941; Monit. univ., 6 mai 1848, p. 953; Monit. univ., 7 mai 1848, p. 963; Monit. univ., 9 mai 1848, p. 977; Monit. univ., 12 mai 1848, p. 1011.) を加えたものである。なお、年齢と同様に若干の誤り・矛盾も見られるがここでは原資料のまま掲載した。また就任年が判るものは () 内に年を掲載した。

- 5) 1848年5月13日に成立した議院規則 (Règlement de l'Assemblée nationale; Bull. off. 37, n° 25.; S. 1848, Lois annotées, pp. 72-73.) 第10条は、各々60名の議員から構成される15の常任委員会を規定する。各委員会への所属は、抽選で決定された。また各委員会の構成員は、同時に15に分かれた部会 (bureaux) の構成員となる。この部会は、特別委員会の構成員の選出母体となり、また憲法草案の審議においては第一次審査を行うなど様々な重要な働きを行っているので参考のため各議員の所属委員会を記した。

各常任委員会の正式名称は以下のとおりである。

- ① Comité chargé de rechercher les moyens d'améliorer le sort des travailleurs;
- ② Comité de la justice;
- ③ Comité de la législation civile et criminelle;
- ④ Comité des cultes;
- ⑤ Comité des affaires étrangères;
- ⑥ Comité de l'instruction publique;
- ⑦ Comité de l'intérieur et des beaux-arts;
- ⑧ Comité de l'administration départementale et communale;
- ⑨ Comité du commerce et de l'industrie;
- ⑩ Comité de l'agriculture et du crédit foncier;
- ⑪ Comité de la marine;
- ⑫ Comité de la guerre;
- ⑬ Comité de l'Algérie et des colonies;
- ⑭ Comité des finances; および,
- ⑮ Comité des travaux publics. (議院規則第10条1号~15号 (S. 1848, Lois annotées, pp. 72-73.) 参照)。

なお、次に掲載する資料では、これらの委員会は、①労働、②司法、③立法、④宗教、⑤外務、⑥公教育、⑦内務、⑧行政、⑨商務、⑩農業、⑪海軍、⑫陸軍、⑬アルジェリア、⑭財務、および⑮公共事業と略称する。

- 6) 「公表制」とは、議会本会議において表決が行われる場合、一定数の議員（20名）の請求があるとき、各議員の表決結果を名前を付して官報モニター紙に掲載する制度である。この制度は憲法制定国民議会議院規則第42条において創設された（詳細については、拙稿「フランス第二共和制の成立と憲法制定国民議会」（名古屋大学法政論集95号1983年）356～358頁および議院規則第五章仮訳同稿390～391頁を参照されたい。）。

本資料と同様に、この制度に基づき公表された議員の表決結果を扱った当時の文献として次のものがある。アトリエ紙 (l'Atelier, avril 1849, p. 323.) およびラジネルの文献 (Raginel, Histoire des votes des Representants du peuple, Paris, Imprimerie de M^{me} veuve Dondey Dupre, 1851.) である。前者では17件の表決について、また後者では48件の表決についての議員の対応がとりあげられている。

憲法制定国民議会においては、261回にわたり同制度が適用された。その日時およびモニター紙掲載頁については前掲拙稿324～330頁を参照されたい。前掲拙稿317頁の表では260回とあるが、その後の調べで10月9日の投票（投票結果のモニター紙掲載頁数、2767頁、投票結果名簿のモニター紙掲載頁数、2790～91頁、投票総数、757名、賛成者数、627名、反対者数、130名）が欠けていることが判明した。これを加え261回と訂正する。なお1848年5月4日～9月4日の間に行われた24件については、前掲拙稿361頁～371頁に解説がある。

- 7) 本稿での作業は、憲法制定国民議会議員の性格を分析する作業を補うものとして位置づけられている。同様に、議員の性格を分析する作業として、前掲拙稿で「公表制」を手掛りに、議会初期（1848年5月4日～9月4日）の時期を扱った。なお、この資料は「公表制」に基づくデータと同様にデータベース化する予定である。
- 8) 直接・普通選挙制度（男子）は、「1848年3月5日デクレ (Bull. off. 5, n° 629)」および「総選挙に関する1848年3月5日デクレ執行のための臨時政府命令 (Bull. off. 7, n° 80)」に基づき成立した。同デクレおよび同臨時政府命令の制定過程および内容については、前掲拙稿333頁～339頁を参照のこと。
- 9) 4月23日実施の総選挙の実態については、前掲拙稿347～353頁を参照せよ。

- 10) 議会は憲法に先立ち、9月4日、「国民議会は、組織法の議決まで解散しない」(第1条) ことおよび「憲法の議決後直ちに憲法制定議会在議決しなければならぬ法律を定める」(第2条) ことを定めた二ヶ条からなる「組織法の議決に関するデクレ (Décret relatif aux vote des lois organiques.; Bull. off. 69, n° 675.; S. 1848, Lois annotées, p. 126.)」を制定し、国家制度を整備する作業をみずから行う決意を示した。
- 11) 例えば、第一次草案および第二次草案の委員会審議の間に、労働権の規定が削除されたことは5月15日事件および6月事件による労働者およびパリ民衆勢力の弱体化と無関係ではなかろう。また、憲法制定過程における議論(例えば、議院内閣制と大統領制の何れを採用するか、その選出方法は直接選挙によるか議員による間接選挙によるか、など)には、議会内での右派・「ル・ナショナル派」・急進派などに大分類される議員の間の党派的対立関係が反映していると考えられるし、ナポレオン(Louis Napoléon Bonaparte) 大統領の下での会期末期において、組織法の制定が頓挫し、解散が決定されたことは、議会内党派の変動、すなわち「山岳党 (Montagne)」, 「秩序党 (Parti de l'ordre)」および「ボナパルト派」の形成と「ル・ナショナル派」の分解といった背景を考慮することが必要だろう。
- 12) 臨時政府の構成員は、以下である。
- デュポン・ドゥ・ルール (Jacques-Charles Dupont de l'Eure),
ラマルティエヌ (Alphonse de Lamartine),
クレミュー (Ad. Crémieux),
アラゴ (Dominique-François Arago),
ルドリュ・ロラン (Alexandre Auguste Ledru-Rollin),
ガルニイエ・パジェス (Etienne-Joseph-Louis Garnier-Pagès),
マリ (Pierre Thomas Marie),
マラスト (Armand Marrast, 以下は書記、但しこの記述は2月24日の布告についてのみ登場する (S. 1848, Lois annotées, p. 6. 註(4)参照),
ブラン (Louis Blanc),
フロコン (Ferdinand Flocon),
アルベール (Albert)。以上 Bull. off 1, n° 1; S. 1848, Lois annotées, p. 6 参照。

またパネール (Pagnerre) が、3月1日、臨時政府命令 (Bull. off. 3, n° 51) により臨時政府総書記 (secrétaire général du Gouvernement provisoire) に

任命された (S. 1848, Lois annotées, p. 6 註(4)参照)。

さらに、臨時政府は、以下の閣僚を任命した。

デュポン・ドゥ・ルール, 閣僚会議議長 (président provisoire du conseil, sans portefeuille),

ラマルティース, 外務担当大臣 (ministre provisoire aux affaires étrangères),

クレミュー, 司法担当大臣 (ministre provisoire à la justice),

ルドリュ・ロラン, 内務担当大臣 (ministre provisoire à l'intérieur),

グウショー (Michel Goudchaux), 財務担当大臣 (ministre provisoire aux finances),

アラゴ, 海軍担当大臣 (ministre provisoire à la marine),

ブドー (général Bedeau), 陸軍担当大臣 (ministre provisoire à la guerre),
但し、翌25日ブドーは第一軍団司令官 (commandant de la 1^{er} division militaire) に任命されたため、後任にシュベルビ (général Subervie) が当てられた (Bull. off. 1, n° 13; S. 1848, Lois annotées, p. 7 参照),

カルノー (Lazare Hippolite Carnot), 公教育担当大臣 (ministre provisoire à l'instruction publique, この時点では、宗教 (cultes) はこの省の一部局 (division) が担当した。),

ベトモン (Bethmont), 商務担当大臣 (ministre provisoire au commerce),

マリ, 公共事業担当大臣 (ministre provisoire aux travaux publics),

同日、アルジェリア総督にカヴェニャク (général Eugène Cavaignac) が、
また、パリ市長にガルニイエ・パジェスが任命された。

13) Bull. off. 1, n° 18; S. 1848, Lois annotées, p. 8.

14) Bull. off. 1, n° 24; S. 1848, Lois annotées, p. 9 参照。

15) Bull. off. 2, n° 34; S. 1848, Lois annotées, p. 10 参照。

16) Bull. off. 4, n° 56; S. 1848, Lois annotées, p. 12 参照。

17) 議員の保守的傾向については前掲拙稿376~379頁を参照せよ。

18) Bull. off. 12, n° 118; S. 1848, Lois annotées, pp. 30-31 参照。

19) 「5月9日デクレ (Décret qui confie le pouvoir exécutif à une Commission exécutive; Bull. off. 36, n° 376.; S. 1848, Lois annotées, p. 72. 参照)
に基づき5月10日に選出された執行委員会の構成員は以下である。

アラゴ,

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議會議員の年齢、職業および所属委員会(1)

ガルニイエ・パジェス,

マリ,

ラマルティース,

ルドリュ・ロラン, 以上五名「5月10日本会議選挙結果告示 (Bull. off. 36, n° 377.; S. 1848, Lois annotées, p. 72. 参照)」。

また執行委員会は書記としてパネールを選出した (Bull. off. 36, n° 379. ; S. 1848, Lois annotées, p. 72. 参照)。

さらに執行委員会は、前記「5月9日デクレ」に基づき、5月11日、以下の閣僚および次官 (sous-secrétaires d'Etat) を任命した。

クレミュー, 司法担当大臣,

バステイド (Jules Bastide), 外務担当大臣,

ファール (Jules Favre), 外務担当次官,

シャラス (Charras), 陸軍担当次官・陸軍担当大臣代理 (5月17日, カヴェニャクが陸軍担当大臣に任命された《Arrêté qui nomme le général Cavaignac ministre de la guerre.; Bull. off. 36, n° 398.; S. 1848, Lois annotées, p. 77. 参照》)。

カズィ (vice-amiral Casy), 海軍担当大臣,

ルクール (Recurt), 内務担当大臣,

カルトゥレ (Carteret), 内務担当次官,

カルノー, 公教育担当大臣「5月20日命令 (Arrêté qui réunit de nouveau l'administration des cultes au ministère de l'instruction publique.; Bull. off. 36, n° 401.; S. 1848, Lois annotées, p. 78. 参照)」により公教育および宗教省と変更された。),

ジャン・レイノー (Jean-Reynaud), 公教育担当次官,

トレラ (Trélat), 公共事業担当大臣,

フロコン, 農業および商務担当大臣,

デュクレル (Eugene Duclerc), 財務担当大臣,

ベトモン, 宗教担当大臣, 以上 (Arrêté portant nomination des ministres et de trois sous-secrétaires d'Etat; Bull. off. 36, n° 380.; S. 1848, Lois annotées, p. 78. 参照)。

20) 憲法制定国民議会は、6月事件の発生に伴い、6月24日、次の三ヶ条からなるデクレ (Décret par lequel l'Assemblée nationale se maintient en per-

manance, met Paris en état de siège, et délègue les pouvoirs exécutifs au général Cavaignac.; Bull. off. 47, n° 503.; S. 1848, Lois annotées, p. 95. 参照) を制定した。

第1条 国民議会は、常設である。

第2条 パリは、戒厳の下に置かれる。

第3条 すべての執行権は、カヴェニャク将軍に委ねられる。

そしてカヴェニャクは、六月事件の鎮圧にあたるとともに、「6月28日デクレ (Décret qui confie le Pouvoir exécutif au général Cavaignac.; Bull. off. 47, n° 518.; S. 1848, Lois annotées, p. 99. 参照)」により、閣僚会議議長 (président du conseil des ministres) の資格で執行権を委ねられ、以下の閣僚を任命した。

ベトモン、司法担当大臣、

バスティド、外務担当大臣、

セナール (Sénarde)、内務担当大臣、

ドゥ・ラモリスィエール (général de Lamoricière)、陸軍担当大臣、

ルブラン (amiral Leblanc)、海軍担当大臣、

グッショー、財務担当大臣、

カルノー、公教育および宗教担当大臣、

ルクール、公共事業担当大臣、および、

トゥーレ (Tourret)、農業および商務担当大臣。以上 (Monit. univ., 29 juin 1848, p. 1515.; Bull. off. 47, n° 519 et suiv.; S. 1848, Lois annotées, p. 99. 註(10)参照)。

なお、カルノーは、7月5日辞職し、ヴォーラベル (Vaulabelle) が任命された (Monit. univ., 6 juillet 1848, p. 1571 参照)。

また、セナール、ルクールおよびヴォーラベルは、10月13日辞職し (Arrêté qui accept la démission de trois ministres.; Bull. off. 81, n° 791.; S. 1848, Lois annotées, p. 133 参照)、デュフォール (Armand Jules Stanislas Dufaure)、内務担当大臣、ヴィヴィアン (Vivien)、公共事業担当大臣 および フレスロン (Freslon) 公教育および宗教担当大臣が任命された (Arrêté portant nomination à trois ministres.; Bull. off. 81, n° 792.; S. 1848, Lois annotées, p. 133 参照)。

② 6月事件および5月15日事件調査のための委員会設置についての「6月26日デクレ (Décret qui charge une commission d'enquête de rechercher les

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢，職業および所属委員会(1)

causes de l'insurrection des 23 juin et jours suivants, et de l'attentat du 15 mai.; Bull. off. 47, n° 510.; S. 1848, Lois annotées, pp. 97-98. 参照)に基づき設置された調査委員会の構成員は，各部会から選出された以下の15名である。

プージュアル (Pougard),

ワルデック＝ルソー (Waldeck-Rousseau), 書記,

ドゥ・ラルシィ (de Larcy),

デルエスポール (Delespaul),

ワールヘ (Woirhaye), 副委員長,

ランドラン (Landrin), 書記,

バロ (Odilon Barrot), 委員長,

ドゥ・ボーモン (de Beaumont ((de la somme))),

グウショー，後に財務担当大臣となったため，辞任し，フーイアド＝ショーバン (Feuihade-Chauvin) がこれに代わった (Monit. univ., 2 juillet 1848, p. 1547 参照),

フランダン (Flandin),

ボォシャール (Quentin Bauchart), 報告者,

ドゥ・モルネ (de Mornay),

ダイレル (Dahirel),

ランジュイネ (Lanjuinais), および,

ラトラッド (Louis Latrade), 以上 (Monit. univ., 27, juin 1848, p. 1501 et p. 1504 参照)。

22) 憲法制定過程については拙稿「試訳・フランス第二共和制憲法第一次草案，フランス第二共和制憲法第二次草案およびフランス第二共和制憲法(1)」(名古屋大学法政論集102号1984) 430頁にその経過について簡単に記してある。

23) 憲法制定国民議会は，12月11日，二ヶ条からなる「組織法列挙法 (Lois contenant l'énumération des lois organiques que l'Assemblée nationale constituante devra voter.; Bull. off. 101, n° 938; S. 1848, Lois annotées, p. 152. 参照) を制定し，以下の10の法律を列挙した。

1. 公権力の受託者の責任に関する法律 (Loi sur la responsabilité des dépositaires de l'autorité publique),

2. コンセイユ・デタに関する法律 (Loi sur le conseil d'Etat),

3. 選挙法 (Loi électorale),
 4. 県および市町村の組織についての法律 (Loi d'organisation départementale et communale),
 5. 司法組織についての法律 (Loi d'organisation judiciaire),
 6. 教育に関する法律 (Loi sur l'enseignement),
 7. 軍隊 (国民軍, 国軍) の組織に関する法律 (Loi sur l'organisation de la force publique «garde nationale, armée»),
 8. 出版に関する法律 (Loi sur la presse),
 9. 戒厳に関する法律 (Loi sur l'état de siège), ならびに,
 10. 公的扶助の組織に関する法律 (Loi sur l'organisation de l'assistance publique), 以上。
- 24) 「ル・ナショナル派」に対抗して, 旧王党派に代表される右派は「秩序党」として結集し, また左派はルドリュ・ロランを中心にのちに「山岳党」を結成する勢力が結集した。しかし, ナポレオンの大統領当選後は, 「ル・ナショナル派」は急速に分解し, 王党派勢力も分裂する。そのなかで, 「ボナパルト派」が徐々に形成された。
- 25) 大統領に選出されたナポレオンは, 12月20日, 以下の閣僚を任命した。
- バロ, 司法担当大臣・閣僚会議議長代理 (chargé de présider le conseil des ministres en l'absence du président de la République.),
- リュリエール (général de division Rulhière), 陸軍担当大臣,
- ドゥ・トラシ (de Tracy), 海軍および植民地担当大臣,
- ドゥ・マルビル (Léon de Malleville), 内務担当大臣,
- フォーシェ (Léon Faucher), 公共事業担当大臣,
- ビクシオ (Bixio), 農業および商務担当大臣,
- ドゥ・ファルー (de Falloux), 公教育および宗教担当大臣,
- パスイ (Hippolyte Passy), 財務担当大臣, 以上 (Arrêtés du Président de la République sur la formation de son ministère.; Bull. off. 106, nos 974 à 982; S. 1848, Lois annotées, p. 165 および同頁註(2)ならびに Monit. univ., 20 décembre 1848, p. 3626^{bis} et ^{ter} および Monit. univ., 21, décembre 1848, p. 3627 参照)。
- 但し, 12月29日にドゥ・マルビルおよびビクシオは辞任し, フォーシェが内務担当に代わり, フォーシェの後任にはラクロス (Lacrosse) が, ビクシオの後任

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

にはビュフェ (Buffet) が任命された (Bull. off. 109, nos 1005 à 1007.; S. 1848, Lois annotées, p. 165 註(2)参照)。

- 26) 四ヶ条からなる1849年2月14日の「国民議会の解散および法律制定議会の招集に関する法 (Loi relative à la dissolution de l'Assemblée nationale et à la convocation de l'Assemblée législative.; Bull. off. 127, n° 1096; S. 1849, Lois annotées, pp. 6-7. 参照) は、「選挙法の第一次審査を開始する」(第1条) こと、その後の総選挙および招集の日程 (第2条), 選挙法, コンセイユ・デタ法, 大統領および閣僚の責任についての法律および1849年度予算を憲法制定国民議会で定めること (第3条), およびこの法律に抵触する 1848 年12月11日法を廃止すること (第4条) を定めた。その結果, 選挙は5月13日に, また議会の招集は5月28日に行われ, それに伴い憲法制定国民議会は5月26日に解散した。
- 27) Loi organique du conseil d'Etat.; Bull. off. 133, n° 1167; S. 1849, Lois annotées, pp. 8-15. 参照。
- 28) Loi électorale.; Bull. off. 136, n° 1182; S. 1849, Lois annotées, pp. 16-31. 参照。

凡例

- ① 職業欄に記載した次の記号の意味は以下である。
- ・は, 第一章または第二章,
 - * は, 第三章,
 - △は, モニトール紙,
 - ◎は, 第一章または第二章および第三章,
 - ▲は, 第一章または第二章およびモニトール紙,
 - ☆は, 第三章およびモニトール紙,
 - ★は, 第一章または第二章, 第三章およびモニトール紙が出典であることを示す。
- ② 職業欄の「前・元」等の表記は原資料のママである。
- ③ 所属委員会の正式名称は註5を参照せよ。
- ④ maire は日本の市町村長にあたるが区別することができない場合はすべてメールとした。

資料

県名, 定数および氏名	年齢	職 業 等	所属委員会
AIN (9名)			
Bochard	70	◎弁護士 (avocat)	行政
Bodin de Montriblout	60	◎地主 (propriétaire)	農業
Francisque Bouvet	50	・ジャーナリスト (Journaliste à Bourg; le Réveil de l'Ain 紙) * 文筆家 (homme de lettres)	外務
Guigne de Champvans	36	・元ビアン・ピュブリック紙主筆 (ancien rédacteur en chef du "Bien public" de Mâcon) ・元アン県臨時政府政府委員 (ancien com- missaire du gouvernement provisoire dans le département de l'Ain)	外務
Charassin aîné	47	◎文筆家 (homme de lettres) ・メール (maire de Bourg) * 弁護士 (avocat)	行政
Maissiat	44	・元メール (ancien maire de Nantua) ・パリ大学助教授 (professeur suppléant à la Faculté de Paris)	公教育
Edgar Quinet	45	◎医師 (médecin) ・コレージュ・ドゥ・フランス歴史学教授 (professeur d'histoire au Collège de France) ・作家・詩人 (littérateur et poète) ・元リヨンアカデミー文学講座教授 (ancien chaire de littérature à l'académie de Lyon)	外務
Regembal	53	* 文筆家 (homme de lettres) ・石工 (tailleur de pierres) ①	労働
Tendret	50	* 彫刻家 (sculpteur) ・元アロンディスマン議会議員 (ancien membre du conseil d'arrondissement) ② ・元メール (ancien maire de Billy) ② ◎弁護士 (avocat)	行政

①「学識, 教養あり」および「委員会 (commissions) への影響力あり」との評価がある (p. 89)。

②ルイ・フィリップ時代 (p. 98)。

AISNE (14名)			
Odilon Barrot	62①	・前議員 (ex-député) * 首相 (président de conseil ministres) ◎元破毀院付弁護士 (ancien avocat à la cour de cassation) ②	司法

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

Quentin Bauchart	39	* 弁護士 (avocat)	司法
Baudelot	45	・ ヴェルヴァン民事裁判所所長 (président du tribunal civil de Vervins)	立法
Debretonne	50	◎司法官 (magistrat)	農業
		・ 前議員 (ex-député)	
		* 元議員 (ancien député)	
Desabes	65	◎地主 (propriétaire à Marles)	財務
		・ 前議員 (ex-député)	
		* 元議員 (ancien député)	
		◎元公証人 (ancien notaire)	
Théophile Dufour	38	公教育
Maxime Lemaire	59③	・ 地主 (propriétaire)	公共事業
		・ アイスン県議会議員 (membre de conseil général de l'Aisne)	
		* 耕作者 (cultivateur)	
Jules Leproux	42	・ 県議会議員 (membre du conseil général pour Vervins)	内務
		* 地主 (propriétaire)	
		* 元司法官 (ancien magistrat)	
Lherbette	58	◎前議員 (ex-député)	内務
		◎元議員 (ancien député) ④	
Nachet	47	・ 元破毀院付弁護士 (ancien avocat à la cour de cassation)	司法
		・ 現破毀院次席検事 (avocat général à la cour de cassation)	
		* 司法官 (magistrat)	
Plocq	53	・ アイスン県臨時政府政府委員 (commissaire du gouvernement provisoire)	行政
Quinette	48⑤	◎弁護士 (avocat)	行政
		・ メール (maire de Soisson)	
		* 前議員 (ex-député)	
		◎元議員 (ancien député) ⑥	
De Tillancourt	38	・ メール (maire de Montfaucon)	労働
		・ 県議会議員 (membre du conseil général)	
		* 弁護士 (avocat)	
Vivien	50⑦	・ 元警視總監 (ancien préfet de police) ⑧	宗教
		・ 元司法大臣 (ancien ministre de la justice) ⑧	
		・ 元コンセイユ・デタ評定官 (ancien conseiller d'Etat) ⑧	
		* 元大臣 (ancien ministre)	
		* 元議員 (ancien député)	

①1790年7月19日生 (p. 9)。②1814-1831年の間 (p. 9)。③60歳 (p. 67)。④1831年以後の議員 (p. 68)。⑤1801年生 (p. 86)。⑥1835年以後の議員 (pp. 86-87)。⑦50歳 (p. 103)。⑧ルイ・フ

イリッパ時代 (p. 103)。

ALLIER (8名)			
Bureaux de Puzy	50	・元士官 (ancien officier) ・前知事 (ex-préfet) ◎前議員 (ex-député)	公共事業
De Courtais ①	60	・前議員 (ex-député) ・元大佐 (colonel sous la monarchie) * 元議員 (ancien député) ◎現役将軍 (général aujourd'hui)
Fargin Fayolle	39	・地主 (propriétaire à Lamay)	アルジェリア
Laussedat	40	◎医師 (médecin à Moulin)	公教育
Charles Madet	44	・地主 = 農業 (propriétaire-agriculteur à Ygrande) * 農業 (agriculteur)	アルジェリア
Félix Mathé	41	・前臨時政府政府委員 (ex-commissaire du gouvernement provisoire) * 地主 (propriétaire)	外務
Barthélemy Terrier aîné	44	・医学博士 (docteur en médecin) ◎医師 (médecin)	公教育
Tourret	54	・元議員 (ancien député) ・現商務担当大臣 (ministre du commerce) * 前議員 (ex-député) * 元大臣 (ancien ministre)	労働

①accusé de mai (p. 106)。

BASSES-ALPES (4名)			
Auguste Chais de Riez	50	・地主 (propriétaire à Riez et en plusieurs autres lieux) ① ・リヨン控訴院名誉院長 (président honoraire de la cour d'appel de Lyon) ・バス・ザアルプ県議会議員 (membre du conseil général des Basses-Alpes) ◎司法官 (magistrat)	立法
Denoize	...	・地主 (propriétaire à Metz ou dans les environs)
Duchaffault de Digne	50	・地主 (propriétaire de Digne) * 前県参事会参事 (ex-conseiller) * 知事 (préfet)	公教育
Fortoul	公教育
Laidet de Sisteron	65	* 将軍 (général)	陸軍

①大地主との記述 (p. 23)。

HAUTES-ALPES (3名)			
Allier	...①	・元議員 (ancien député à Embrun) ②	内務

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢，職業および所属委員会(1)

Bellegarde	41	<ul style="list-style-type: none"> ・元騎兵大尉 (ancien capitaine de cavalerie) ③ * 彫像家 (statuaire) ④ ・地主 (propriétaire à Embrun) ・オート・ザアルプ県議会議員 (membre du conseil général des Hautes-Alpes) 	公共事業
Faure	51	<ul style="list-style-type: none"> * 耕作者 (cultivateur) ・前議員 (ex-député) ◎弁護士 (avocat à Gap) 	立法

①1793年生 (p. 4)。②1842年 Embrun で選出，父も1830-37の間議員 (p. 4)。③帝政期 (p. 4)。

④1814年以来芸術研究 (p. 4)。

ARDECHE (9名)			
Champanhet	53	<ul style="list-style-type: none"> ・医学博士 (docteur en médecin) ・元砲兵士官 (ancien officier d'artillerie) * メール (maire) △医師 (médecin) 	行政
Chazallon	...	▲河海測量技師 (ingénieur hydrographe)	海軍
Dautheville	57	★工兵第三連隊大佐 (colonel du 3 ^e regiment du génie)	陸軍
Laurent	58	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時政府政府委員 (commissaire du gouvernement provisoire) * 弁護士 (avocat) 	公共事業
Mathieu	58①	<ul style="list-style-type: none"> ▲パリバ裁判所裁判官 (juge à Parivas) ・前議員 (ex-député) ② * 司法官 (magistrat) ▲アルジャンティエール民事裁判所所長 (président du tribunal civil de l'Argen-tière) 	立法
Rouveure	50③	★なめし革製造 (販売) 業 (megissier)	労働
Royol	53④	<ul style="list-style-type: none"> * 司法官 (magistrat) △トゥルノン裁判所所長 (président du tribunal de Tournon) 	立法
Sibour	49⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・エクス大司教秘書 (secrétariat de l'archevêché d'Aix) ・エクス大学神学部教会史および戒律担当教授 (professeur d'histoire et discipline ecclésiastique à la faculté de théologie d'Aix) ⑥ ・エクスアカデミー会員 (membre de l'Académie d'Aix) ◎聖職者 (prêtre) ▲聖職者 (ecclésiastique) 	公教育
Valladier aîné	51	◎メール (maire de Valon)	行政

①53歳 (p. 74)。②1837年以來 (p. 74)。③1807年生 (p. 92)。④1808年生 (p. 93)。⑤1807年
2月9日生 (p. 95)。⑥1837年任命 (p. 95)。

ARDENNES (8名)			
Blanchard	…	★弁護士 (avocat du barreau de Sedan)	商務
Drapier	38	◎公証人 (notaire à Sedan)	行政
Payer	31	・植物学者 (botaniste)	外務
		*教授 (professeur)	
		△外務省官房長 (chef du cabinet du ministre des affaires étrangères)	
Léon Robert	34	*地主 (propriétaire)	アルジェリア
Talon	39	・ポリテクニク卒業生 (polytechnicien)	農業
		*農業 (agriculteur)	
		▲耕作者 (cultivateur)	
Ternaux-Mortimer	41①	・元議員 (ancien député à Rethel) ②	財務
		・元コンセイユ・デタ調査官 (ancien maître des requêtes)	
		△前議員 (ex-député)	
Toupet-Desvignes	…	・ジベ国民軍司令官 (commandant de la garde nationale de Givet)	アルジェリア (書記)
Tranchart de Vouziers	…	・ブーズィエール裁判所所長 (président du tribunal de Vouziers)	立法

①1808年生 (p. 98)。②1842年選出 (p. 98)。

ARIEGE (7名)			
Clément Anglade	48	* 弁護士 (avocat)	立法
		▲元議員 (ancien député)	
Arnaud	31	・ 弁護士 (avocat)	宗教
		* 文筆家 (homme de lettres)	(副委員長)
Casse	58	・ 弁護士 (avocat)	陸軍
		* 軍人 (militaire)	
Darnaud	58	* 司法官 (magistrat)	内務
		▲前議員 (ex-député)	
Galy-Cazalat	50	・ 技師 (ingénieur)	海軍
		・ 精錬機械工 (fondeur mécanicien)	
		* 前教授 (ex-professeur)	
Théodore Vignes	36	・ 元臨時政府政府委員代理 (ancien sous-commissaire du gouvernement provisoire)	農業
		◎弁護士 (avocat)	
Xavier-Durrieu	32①	・ 著述家 (écrivain publiste) ②	外務
		・ 現クーリエ・フランセ紙主筆 (rédacteur en chef du Courrier français) ③	
		・ 元トン紙編集者 (ancien rédacteur du Temps)	

資料・フランス共和第二制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

		<ul style="list-style-type: none"> ・元ルヴェー・ドゥ・パリ紙編集者 (ancien rédacteur de la Revue de Paris) ・元ルヴェー・デ・ドゥー・モンド紙編集者 (ancien rédacteur de la Revue des Deux Mondes) * 文筆家 (homme de lettres) ▲ クーリエ・フランセ紙編集者 (rédacteur au Courrier français) 	
--	--	---	--

①1817年2月28日生 (p. 42*)。②1838年パリに出て以来 (p. 42*)。③1839年以來 (p. 42*)。

* 資料原頁では34頁だが、これは誤植なので正しい頁である42頁に訂正した。

AUBE (7名)			
Blavoyer	34	* 農学者 (agronome)	農業
Delaporte	52①	・ オープ県議会議員 (membre de conseil général de l'Aube)	財務
		・ トロワ市議会議員 (membre de conseil municipal de Troyes)	
Amédée Gayot	59②	* 元薬剤師 (ancien pharmacien)	商務
		・ 地主 (propriétaire)	
		・ トロワ市議会議員 (membre de conseil municipal de Troyes)	
Gerdy aîné	59③	・ 医師 (médecin)	公教育
		◎ 医学校教授 (professeur à l'école de médecin)	
Lignier	43	・ 元臨時政府政府委員 (ancien commissaire de gouvernement provisoire)	行政
		* 元弁護士 (ancien avocat)	
Millard	47④	◎ 元貿易商 (ancien négociant) ⑤	公教育
Stourm	51⑥	・ 弁護士 (avocat)	公共事業
		・ 前議員 (ex-député)	
		・ パリ＝リヨン鉄道支配人 (directeur du chemin de fer de Paris à Lyon)	
		◎ 元司法官 (ancien magistrat)	

①1796年11月28日生 (p. 32)。②1806年7月2日生 (p. 49*)。③1797年5月1日生 (p. 49*)。

④1802年1月1日生 (p. 75)。⑤貿易商の息子、1835年まで貿易商を営む (p. 75)。⑥共和歴7年生 (p. 96)。⑦1837年選出 (p. 96)。⑧1846年以來 (p. 96)。* 資料原頁では41頁だが、これは誤植なので正しい頁である49頁に訂正した。

AUDE (7名)			
Anduze-Faris	50	* 工場主 (manufacturier)	公共事業
Armand Barbès ①	38	……②	……
Edouard Joly fils ③	27④	・ 弁護士 (avocat)	アルジェリア
Théodore Raynal	30⑤	・ ナルボンヌ国民軍大佐 (colonel de la garde nationale de Narbonne)	商務

Sarrans jeune ⑥	...	<ul style="list-style-type: none"> ・元臨時政府政府委員 (ancien commissaire de gouvernement provisoire) * 貿易商 (négociant) ・元弁護士 (ancien avocat) ・著述家 (écrivain distingué; estimé dans le monde littéraire et dans le monde politique) ⑦ ・トリビュヌ紙共同経営者 (collaborateur de la Tribune) ・スメイン紙代表編集者 (principal rédacteur de la Semaine) 	外務
Marc Solier	52	<ul style="list-style-type: none"> * 文筆家 (homme de lettres) * 弁護士 (avocat) ▲地主 (propriétaire de Castelnaudary) 	公教育
Trinchant	47	<ul style="list-style-type: none"> ★ 弁護士 (avocat) ▲元臨時政府政府委員 (ancien commissaire de gouvernement provisoire) 	外務

①detenu pour l'affaire de mai (p. 108)。②1839年5月事件により終身刑 (二月革命まで) に服す (p. 8)。③オート・ガロンヌ県選出の Joly père は父 (p. 57)。④1821年生 (p. 57)。⑤1819年5月2日生 (p. 88)。⑥1839年ラファイエットの幕僚 (p. 94)。⑦文学, 政治学の分野で評価される (p. 94)。

AVEYRON (10名)			
Abbal	50	<ul style="list-style-type: none"> * 聖職者 (prêtre) ▲ロデ司教区司教総代理 (vicaire général du diocèse de Rodez) 	農業
Affre ①	58	<ul style="list-style-type: none"> △元司法官 (ancien magistrat) △県議会議員 (membre du conseil général) △元郡長 (ancien sous-préfet) ★ 弁護士 (avocat à Rodez) 	宗教
Dalbis du Salze	50	<ul style="list-style-type: none"> △元司法官 (ancien magistrat) △ 弁護士 (avocat) ◎地主 (propriétaire) 	アルジェリア
Dubruel	40	△ 弁護士 (avocat à Villefranche)	司法
Grandet	62	<ul style="list-style-type: none"> ・ロデ市議会議員 (membre de conseil municipal de Rodez) * 元弁護士 (ancien avocat) △ロデ郡議会議員 (membre de conseil d'arrondissement de Rodez) ▲ 弁護士 (avocat) 	宗教
Médal fils aîné	37	<ul style="list-style-type: none"> ・地主 (propriétaire à Sénac) △県議会議員 (membre du conseil général) ★ 耕作者 (cultivateur à Sénac) 	内務
Pradié	40②	<ul style="list-style-type: none"> ・著述家 (publiciste à Rodez) 	宗教

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議會議員の年齢、職業および所属委員会(1)

Rodat	40	★公証人 (notaire à Marcillac) △元司法官 (ancien magistrat)	(書記) 司法
Vernhette	48	★弁護士 (avocat à Rodez) △県議會議員 (membre du conseil général) ☆弁護士 (avocat à Millan)	司法
Vesin	46	★元司法官 (ancien magistrat) ・弁護士 (avocat) ・前初審裁判所検事 (ex-procureur du roi) △県議會議員 (membre du conseil général) ☆元司法官 (ancien magistrat)	労働

①Mgr Affre (パリ大司教) は兄弟 (p. 3)。②1808年生 (p. 85)。

BOUCHES-DU-RHONE (10名)			
Louis Astouin	41	◎人足 (portefaix sur le port de Marseille) ①	労働 (書記)
Barthélemy	45	★メーラ (maire à Marseille)	アルジェリア
Berryer	59	△前議員 (ex-député) ◎弁護士 (avocat)	財務
Laboulie	59	△前議員 (ex-député) ◎弁護士 (avocat)	外務
Demosthènes Ollivier	55	・検事 (procureur) * 元貿易商 (ancien négociant)	商務
Pascal d'Aix	36	・著述家 (écrivain publiste) ・レール・ヌーベル紙編集者 (rédacteur du journal l'Ere nouvelle)	立法
Poujoulat ainé ②	47③	* 弁護士 (avocat) ・著述家 (publiste)	公教育
Alexandre Rey ④	40	* 文筆家 (homme de lettres)
Louis Reybaud ⑤	41⑥	◎文筆家 (homme de lettres) ・作家 (écrivain)	労働
Sauvair-Barthélemy	46	・侯爵 (marquis)	財務

①26歳のときの職業 (p. 6)。②1848年6月4日補欠選挙選出。③1802年生 (p. 85)。④1848年6月4日補欠選挙選出。⑤1848年4月日補欠選挙選出。⑥40歳 (p. 90)。

CALVADOS (12名)			
Bellencontre	64	・退役砲兵大佐 (colonel d'artillerie en retraite) * 軍人 (militaire)	陸軍
Besnard	47	・臨時政府政府委員補佐 (sous-commissaire de gouvernement provisoire à Vire) * 代理人 (agent d'affaire)	内務
Demortreux	51	* 司法官 (magistrat) ▲リズィユー民事裁判所所長 (président du	司法

		tribunal civil de Lizieux)	
l'abbé Desclais	48	◎聖職者 (prêtre)	公教育
Deslongrais	53①	・前議員 (ex-député)	財務
		◎メール (maire à Vire)	
		☆元議員 (ancien député)	
Douesnel-Dubosq	51	・元初審裁判所検事 (ancien procureur du roi sous la monarchie du juillet)	立法
		* 銀行家 (banquier)	
Durand (Calvados)	...	・メール (maire de Caen)
Sosthènes Hervieu	40②	・猟騎兵第六連隊軍曹 (le grande de maréchal-des-logis dans le 6 ^e chasseurs)	公共事業
		* 地主 (propriétaire)	
Lebarillier	44	・前臨時政府政府委員 (ex-commissaire du gouvernement provisoire)	農業
		・耕作者 (cultivateur à Bizets)	
		・農学者 (agronome)	
		* 地主 (propriétaire)	
Jean-Nicolas Lemonnier	34③	◎機械労働者 (ouvrier mécanicien)	商務
Auguste Marie	46	・銀行家 (banquier à Caen)	公教育
		* 弁護士 (avocat)	
Félix Person	54④	・地主 (propriétaire)	農業
		* 軍人 (militaire)	
Thomine-Desmasures?	公教育

①1796年生 (p. 24)。②1809年生 (p. 55)。③1815年生 (p. 67)。④1796年生 (p. 82)。

CANTAL (7名)			
Daude	49	・カンタル県議会議員 (membre du conseil général du département du Cantal)	立法
		★弁護士 (avocat à Saint-Claude)	
Amédée Delzons	41	★弁護士 (avocat à Aurillac)	内務
Durieu-Paulin	41	・臨時政府政府委員 (commissaire du gouvernement provisoire à Mauriac)	立法
		△政府委員 (commissaire du gouvernement à Saint-Flour)	
Murat-Sistrières	49	・県議会議員 (membre du conseil général)	財務
		△元砲兵大尉 (ancien capitaine d'artillerie)	
		◎地主 (propriétaire à Vic, près Aurillac)	
Félix de Parieu fils	54①	△法学博士 (docteur en droit)	労働
		◎弁護士 (avocat)	
Richard	47	* 獣医師 (médecin vétérinaire)	農業
		▲医師 (médecin à Saint-Flour)	
Teilhard-Latérisse	38	・医学博士 (docteur en médecine)	財務
		* 医師 (médecin)	
		▲ミュラ市長 (maire de Murat) ②	

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

①35歳 (p. 81)。②二月革命以来 (p. 98)。

CHARENTE (9名)			
Babaud-Laribière	30	・臨時政府政府委員 (commissaire du gouvernement provisoire à Angoulême) * 弁護士 (avocat) △政府委員 (commissaire du gouvernement)	内務
Garnier-Laboissière	52	* 地主 (propriétaire) △政府委員 (commissaire du gouvernement) ▲前議員 (ex-député)	商務
Ernest de Girardin	46	・前伯爵 (ex-comte) △元議員 (ancien député) ◎前議員 (ex-député de Buffec) ①	財務
Auguste Hennesy	46②	・コニャック製造業当主 (la tête d'une des premières maisons de Cognac) ・県議会議員 (membre du conseil général) * 前議員 (ex-député) ◎貿易商 (négociant à Cognac)	財務
Lavallée	43	* 公証人 (notaire) △元政府委員補佐 (ancien sous-commissaire à Buffec) ①	司法
Mathieu-Bodet	33	▲シャラント県議会議員 (membre du conseil général de la Charente) ★弁護士 (avocat)	財務
Planat ③	...	・貿易商 (négociant) ・コニャック市議会議員 (membre du conseil municipal de Cognac) △コニャック市長 (maire de Cognac)
Pougéard	46	★弁護士 (avocat à Confolens)	財務
Rateau	49	★弁護士 (avocat à Bordeaux)	司法

①1830年以前および以来 (p. 42)。②46歳 (p. 54)。③辞職 (p. 110)。

CHARENTE-INFÉRIEURE (12名)			
Audry de Puyraveau	73	△前議員 (ex-député) ① △元議員 (ancien député)	内務
Baroche	45	・元議員 (ancien député) * 司法官 (magistrat) ② △前議員 (ex-député)	外務
Brard ③	...	・医学博士 (docteur en médecine) △医師 (médecin)
Bugeaud	60	・元議員 (ancien député) ・元帥 (maréchal de France) * 軍人 (militaire)	陸軍
Coutanseau	...	・農業 (agriculteur)

Dargenteuil ④	...	・製粉業 (meunier)
Debain	41⑤	▲医師 (médecin à Saintes) ・元労働者 (ancien ouvrier) * 労働者 (ouvrier)	公教育
Dufaure	...⑥	▲養護施設長 (chef d'institution à Paris) ・コンセイユ・デタ評定官 (conseiller d'Eat) ⑦ ・公共事業担当大臣 (ministre des travaux publics) ⑧ * 元議員 (ancien député) ◎弁護士 (avocat du barreau de Bordeaux) ◎元大臣 (ancien ministre de Louis-Philippe) ▲前議員 (ex-député)	アルジェリア
Dupont de Bussac	49	・元弁護士 (ancien avocat à la cour royale de Paris) ・農業 (agriculteur à Bussac) * 弁護士 (avocat) △前弁護士 (ex-avocat)	立法
Gaudin	33	・作家・著述家 (écrivain publiciste) ・リュニオン・ドゥ・サント紙主筆 (rédacteur en chef de l'Union de Saintes) * ジャーナリスト (journaliste) ▲弁護士 (avocat)	立法
Regnault de Saint-Jean d'Angely	...	・将軍 (général) ⑨ ・第二槍騎兵連隊大佐 (colonel au 2 ^e lancier)	陸軍
Renou de Ballon ⑩	...	・元臨時政府政府委員 (ancien commissaire du gouvernement provisoire) ・前議員 (ex-député) ◎地主 (propriétaire)	財務
Léon Target	44	★労働者 (ouvrier du port de Rochefort)	海軍

①1820年以来 (p. 7)。②パリ弁護士会実力者 (notabilité du barreau de Paris) (p. 9)。③死亡 (p. 110)。④死亡 (p. 110)。⑤45歳 (p. 31)。⑥1789年生 (p. 31)。⑦二月二日内閣により任命 (p. 31)。⑧五月一二日の内閣、所管法案 (loi de dotation) の否決により辞職 (p. 31)。⑨アルプス軍団騎兵旅団 (une brigade cavalerie à l'armée des Alpes) を指揮 (p. XXXIV)。⑩オードリイ・ドゥ・ピュイラヴオー (Andry de Puyraveau) の甥 (p. 89)。

CHER (7名)			
Bidault	53	▲弁護士 (avocat à Saint-Amant)	農業
Bouzique	53①	・文筆家 (homme de lettres) ◎弁護士 (avocat)	司法
Duplan	42	▲メーヌ (maire de Bourges) ◎弁護士 (avocat)	司法

資料・フランス第二共和制憲法制定国民議会議員の年齢、職業および所属委員会(1)

Duvergier de Hauranne	48②	▲政府委員(commissaire du gouvernement) ・作家・著述家 (écrivain publiciste) * 弁護士 (avocat) * 元議員 (ancien député) ▲前議員 (ex-député)	財務
Poisle-Desgranges ③	50④	・書生 (petit clerc) ・代訴人 (avoué à Bourges) ・国民軍司令官 (commandant de la garde nationale)	司法
Félix Pyat	35⑤	△政府委員 (commissaire général) ◎文筆家 (homme de lettres)	内務
De Vogué	44⑥	・地主 (propriétaire) ・鉄工場主 (maire de forges à Bourges) ◎元騎兵士官 (ancien officier de cavalerie)	労働

①1801年1月7日生 (p. 18)。②1798年生 (p. 34)。③Poisle des Granges は Goutte des Granges とも言われる。またヌムール公 (duc de Nemours) の推薦によりレジオン・ドヌール勲章を授賞 (p. 84)。④60歳 (p. 84)。⑤1808年頃生 (p. 86)。⑥1805年生 (p. 103)。

CORREZE (8名)			
Bourzat	51	★弁護士 (avocat à Brives)	立法
Henri-Auguste Ceyras	53①	・弁護士 (avocat) ② ・検事代理 (substitut) ② ・初審裁判所検事 (procureur du roi) ② ・チュール裁判所裁判官 (juge au tribunal de Tulle) * 司法官 (magistrat)	アルジェリア
Dubousquet-Laborderie	...	★元郡長 (ancien sous-préfet)	行政
Favart	...	・弁護士 (avocat) ・メール (maire de Tulle) * 元弁護士 (ancien avocat)	行政
Louis Latrade	37③	・元ナショナル紙編集者 (ancien rédacteur du National) ・元臨時政府政府委員 (ancien commissaire du gouvernement à Bordeaux) * ジャーナリスト (journaliste) △政府委員 (commissaire général à Périgux) ④	内務
Lebraly	47	* 元知事 (ancien préfet)	行政
Madesclaire	45⑥	▲元郡長 (ancien sous-préfet) ⑤ * 実業家 (industriel) ▲チュール国民軍司令官 (commandant de la garde nationale de Tulle)	内務
Penières	39	△弁護士 (avocat)	陸軍

①1796年2月22日生 (p. 23)。②ブレスュール (Bressuire) およびブルボン・バンデ (Bourbon-

Vendée, 現在のナポレオン・バンデ Napoléon-Vendée) において (p. 23)。③1802年生(p. 63)。
④モニター紙 p. 918 はこのように記述, p. 917 では commissaire du gouvernement と
記述す。⑤ルイ・フィリップ期 (p. 64)。⑥43歳 (p. 71)。

(はせがわけん 本学助教授 憲法学)